

# 海外安全対策情報

## (定期報告:平成25年度第3四半期)

在エチオピア日本国大使館

### 1. 社会・治安情勢

(1) 当国政府は当地におけるテロ対策として、主要施設等の警備強化を継続している。

10月13日には、首都アジスアベバの民家において、爆弾が爆発、2名が死亡している。この件に関し、イスラム過激派武装組織「アル・シャバーブ」が犯行声明をだした。

また、11月5日には、当局が、「アル・シャバーブ」による具体的なテロ攻撃の情報を入手したとして、一般市民に対し、不審な外国人の動向に接した際は、当局に報告するよう情報提供を呼びかけた。

政府による具体的な措置は、10月13日以降は認められないものの、テロのターゲットとなり易い高級ホテルや政府機関等は警戒レベルを上げている。

(2) ブルー・パーティや UDJ といった国内野党が、反政府スローガンを掲げたデモを計画している。サウジアラビアからのエチオピア人労働者の強制退去事案に際しては、右を口実にデモを企画するなど、上記野党は、政府攻撃の材料を最大限利用するとの態度を見せている。6月以降、大規模デモは、行われていないが、今後は一部ムスリムとの連携も噂されている。

### 2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当地においては、日本人を含む外国人を狙った強盗や窃盗事件が発生している。主な手口は次のとおり。

#### (1) 強盗事件

首締め強盗被害が頻繁に発生している。いずれも夜間の時間帯であり、複数による犯行も認められる。暗くなってからの徒歩での移動を控え、車で移動すること、及び自宅から移動ルートを毎日変更するなどして、犯行動機の抑制に努める必要がある。

### 2. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

#### (1) 殺人

邦人被害の届け出はない。

#### (2) 強盗

12月にアジスアベバ、ピアッサ地区において、邦人旅行者1名が二人組の男に襲われ、

暴行された後、金品、旅券を強奪された。旅行客は午前5時ごろに市内の繁華街付近を徒歩で移動していた。

### (3)強姦

邦人被害の届出はない。

## 3. テロ・爆弾事件発生状況

上記1. (1)のとおり、10月13日には、首都アジスアベバの民家において、爆弾が爆発、2名が死亡している。この件に関し、12月5日、連邦警察は、この爆発は、サッカーワールドカップの最終予選にてテロを敢行しようと計画していたものとして、4名を逮捕した。以前から「アル・シャバーブ」は、エチオピアのソマリア派兵に対する報復として、エチオピア国内でのテロ攻撃を公言しており、今後もこの類の事案の発生が危惧される。

## 4. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の届出はない。

## 5. 自然災害発生事例

国内において大きな災害は、発生していない。

## 6. 対日感情

対日感情については、問題ない。

注意：エチオピア人の対日感情に問題は無いが、エチオピア人の中には中国に対して反感を懐く者もあり、日本人が中国人と間違われ、嫌がらせを受ける可能性はある。

## 7. 日本企業の安全に係わる諸問題

特になし。